

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 友だちいっぱい 蒔田の子」  
横浜市立蒔田小学校だより  
平成27年度

# まいた

11月号

平成27年10月30日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita>

「努力はたし算 協力はかけ算」

副校長 青木 智



晴れた日の優しい日溜まり、その中を時折走り抜けていく冷たい風…。秋は深まり、木々も色づき、銀杏・もみじの葉が舞い止まぬ頃、北国からは冬の便りも届き始めています。晩秋から初冬へと、季節の変わり目を肌で感じる頃となりました。

後期がスタートしてから3週間が過ぎました。この間にも、芸術鑑賞会（全学年）・上郷体験学習（4年）・放送ライブラリ見学（5年）・市小学校体育大会（6年）・全校遠足（全学年）等数多くの行事がありました。どれも無事に終わることができました。

昔から言われている言葉に、「努力はたし算、協力はかけ算」という言葉があります。私が担任をしていた時に、よくこの言葉を子どもたちに言っていました。今回はこの言葉について話をしたいと思います。

1年生は「たし算」はわかりますか？「 $2+3=5$ 」のような計算のことです。かけ算は、まだ、1年生は習っていないと思いますが、2年生の九九で学習する「 $2\times 3=6$ 」のような計算のことを言います。

最初の「努力はたし算」とは、「毎日こつこつ努力を積み重ねていくと、たし算のように少しずつ結果が積み重なっていく」という意味です。例えば、本を1日3ページずつ読んでいくと、1日目は3ページですが、2日目には、「 $3+3=6$ 」で6ページ、3日では「 $3+3+3=9$ 」で9ページと、だんだん読み進めていくことができます。こうして100日間読み続けていくと、300ページの本を読むこととなります。このように1日たった3ページでも、毎日こつこつと読む努力を続けていくと、どんな厚い本でも読み終わることができます。これが、「努力はたし算」です。

次に、「協力はかけ算」の意味です。「かけ算」は「たし算」よりも、結果が大きくなる場合があります。例えば、最初の「 $2+3=5$ 」と「 $2\times 3=6$ 」も、かけ算の方が答えが大きくなります。これは、男子2人と女子3人が、ある作業をするとき、そのままではたし算の「5」の結果しか現れませんが、この5人が協力して取り組むと、「 $2\times 3=6$ 」のようにたし算より大きい「6」の結果となります。つまり、「みんなで協力して取り組むと、かけ算のように大きな結果が現れる」ということです。これが「協力はかけ算」です。

「協力はかけ算」について、もう一つ面白い話をします。「3」の力で3人の人が協力して取り組むと、「 $3\times 3\times 3=27$ 」と、「27」の結果が現れ、「 $3+3+3=9$ 」のたし算より大きな結果となります。しかし、もしこの3人のうち、1人でもまったく協力しない人、つまり「0」の力しか出さない人がいると結果はどうなるでしょう？「 $3\times 3\times 0=0$ 」と、答えは「0」になってしまいます。つまり「何の結果も出ない」ということです。みんなで協力し合って取り組むと大きな結果となりますが、たった一人でも協力しない人がいると、結果は「0」になってしまいます。ですから、みんなで協力し合うことがとても大切なのです。

「努力はたし算」。まず一人ひとりが自分のできることを、毎日こつこつと取り組んで努力していきましょう。次に「協力はかけ算」。掃除や給食、学級の係活動など、みんなで取り組む活動の時は、みんなで協力し合ってください。そうすると大きな結果が生まれます。「よいこと」を一人ひとりが積み重ねていくと「たし算」のように結果が増えていきます。そして、「よいこと」をみんなで協力して行くと、「かけ算」のように、たし算よりもっと大きな結果が現れます。

ぜひ、「努力はたし算、協力はかけ算」の言葉を忘れず、毎日を過ごしていきましょう。そうすると「楽しい学校」になるとと思います。



10月26日（月）から28日（水）までの3日間に行われた「学校を開く週間」では、たくさんの保護者や地域の方々が学校に足を運んでくださり、ありがとうございました。子どもたちが真剣に学習に励む姿や仲良く楽しく学校生活を送っている様子をご覧いただけたことと思います。

今後も温かいご支援・ご協力をお願いいたします。